

豊明市災害廃棄物仮置場 設置・運営訓練

日 時 令和7年11月15日(土)9:00~11:00
場 所 山田グラウンド
参 加 者 全49名(豊明市役所職員9名)

豊明市と尾張北支部(南村朋幸支部長)は、豊明市山田グラウンドにおいて、近年多発する地震や豪雨などの自然災害が発災した際に迅速に対応できるよう、災害廃棄物の分別の必要および管理の重要性を市民のみならず、また職員が研鑽を積み、有事に備えることを目的に仮置場設置運営・訓練を実施しました。

豊明市環境課 松本裕介課長および樋口健太係長より開会のあいさつがあり、訓練はスタートしました。まず市民の皆さまに、ファストレーン方式やブルーシートを使用する理由、1~16種類に細分化した選別品目について説明を行いました。訓練の途中でも、市民の皆さまから気づきや改善提案が寄せられ、それを即時に反映するなど、柔軟な対応が行われました。行政と当協会員に加え、地域の皆さまとともにマニュアルをより良いものへと高めていく、非常に理想的な取り組みとなりました。

閉会のあいさつで、小浮正典豊明市長より「今回の訓練は、簡単に言えば『ごみを適切に分別すること』と『車両の動線を確保すること』を確認するものです。豊明市は約3万世帯を抱えており、大規模災害が発生した際には、災害廃棄物を迅速に処理しなければ復旧が大きく遅れてしまいます。市の職員や愛知県産業資源循環協会会員だけでは対応しきれない場面も想定されるため、市民の皆さまのお力添えが不可欠です。万が一に備え、日頃



豊明市環境課
松本裕介課長



小浮正典豊明市長



訓練の様子

から意識を高めていただければ幸いです。今後ともよろしくお願いたします。」とあいさつがありました。愛産協の災害廃棄物処理対策特別委員会の山本浩也委員長より「豊明市と愛産協は、約半年をかけてマニュアルの策定を行い、毎年1回リハーサルを実施してまいりました。豊明市での実施は今年で5回目となり、これは愛知県内54市町村の中でも最多となります。取り組み内容も回を重ねることに多様化し、より充実したものとなってきております。今回は、受付周辺の混雑緩和および道路状況の改善を目的として、単品ファストレーンをグラウンドから道路を挟んだ向かいの駐車場に設置いただきました。この工夫は、全体の動線確保の観点からも非常に有効であったと感じております。今後も市町村の皆さまと顔の見える関係をさらに深めながら、引き続き一層の協力体制を構築していきたいと存じます。今後とも変わらぬご指導、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。」と総括を述べられ訓練は終了しました。



愛産協災害廃棄物処理対策
特別委員会
山本浩也委員長

